- Q 読み込んだ図面に書き込まれた寸法値とレブロで測定した 数値が合わない
- A1 [拡大]コマンドで倍率を指定します
- A2 [拡大]コマンドで3点の位置を指定します
- A3 [読み込み]コマンドで拡大率を入力します

正しい縮尺で出力されていない図面の大きさを合わせるには、[拡大]コマンドで要素を変倍するか、[読み込み]コマンドで 図面の拡大率を入力して読み込み直します。 4500 8100

以下の測定値になった場合 寸法値 測定値 4500mm→2250mm

拡大率を算出します。 4500mm÷2250mm=2 倍



▼A1 [拡大]コマンドで倍率を指定します

1 拡大する要素をすべて選択し、コンテキストメニューの[拡大]コマンドを選択します。編集方法を[基準点と倍率の 値]を選択し、[倍率]の値に算出した拡大率を入力後、拡大の基準位置を指定します。



●補足説明

[倍率]の入力欄上で右クリックすると、計算機を表示することができます。

🖵 基準点と倍率の値 🔻 🗌 機器器					太す	5		
倍率	🔪 🗸 🗌 汎用記号を拡大する							
	000							
_	─加算·減算	[7	8	9	/	C BS	
H	+1000	-1000	4	5	6	ж	שצ-	
1374	+100	-100	1	2	З	-	ペースト	
	+10	-10	0		•	+	$\langle \rangle$	
十	値を丸	=				キャンセル		

▼A2 [拡大]コマンドで3点の位置を指定します

1 拡大する要素をすべて選択し、コンテキストメニューの[拡大]コマンドを選択します。編集方法を[3 点の位置]を選択し、拡大の中心位置、拡大の基準位置、拡大位置の順に 3 点を指定します。



<拡大位置>

メジャーで距離を指定して、拡大位置を指定します。拡大の中心位置から拡大の基準位置の方向へ左ドラッグすると、入力欄が表示されます。入力欄に寸法値を入力し、確定します。



▼A3 [読み込み]コマンドで拡大率を入力します

1 読み込みのダイアログで[基本]タブの[図面を拡大して読み込む]にチェックを入れ、算出した拡大率を入力します。通常、図面の拡大率にはチェックを入れません。

DWG形式の読み込み)
AutoCAD 2018/2019/2020	
кв	
基本 レイヤー 寸法線・文字 色・塗り・ペン・線種 線・面	
図面の拡大率	
🗹 図面を拡大して読み込む 2 🚽 🖌 倍	
停占	
X 0 Y 0 Z 0	
図面上で指定⇒	
 レイアウトをTFAXまする AutoCADのレイアウトなづを読み込む: 	
 ○ ビュー共通 ● 平面ビュー共通 ○ ビュー専用	
☑ 読み込み後、ビューをフィットする	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
OK キャンセル	ŀ